



糸原 文昭 議員

質問

将来の医療介護施設の確保は

町長

将来のニーズを考慮し検討



町内の介護施設の様子

質問 将来子どもたちが成長し、仕事に就くことのできる医療・介護施設を確保することは、地域の存続に重要と思うが。

町長 医療・介護施設の確保については、利用者のニーズも考慮し、検討していく必要がある。

質問 人口減少に伴い、病院の経営は岐路に立っている。将来の奥出雲病院のありべき姿や方向性は。

町長 医療や介護を通じ、町民へ安心を提供し続けることである。また、看護師など、将来働きたいと思える病院づくり

を行っている。今後の方向性は、医療・介護の提供体制確保と適正化を念頭に経営を行う。

質問 雲南市・奥出雲町地域医療ネットワークの状況は。

町長 各病院との情報交換や職員の派遣等について勉強会や研修等を進めている。

質問 令和2年の老齢人口は、約5300人で、20年後には約3800人となる。施設の数などの見直しは。

町長 町内の施設の見直しを図り、高齢者が住み慣れた町で暮らしていける環境整備を検討する。

AEDの取扱訓練について

質問 小学校、中学校でのAEDや心肺蘇生法の訓練の状況は。

教育長 小学校では、年1度程度実施している。中学校では、教職員に限らず生徒も実施している。

再質問 この夏、邑南町で、児童の死亡事故が発生した。子どもたちの命を守ることについては。

教育長 事故は、いつ起こるか分からないので、校長会や公民館長会を通し、対応を進める。

質問 仁多、横田庁舎にAEDが設置されている。実際にどう対応するのか、訓練の実施やマニュアル作成は。

町長 現在、訓練は実施していない。今後、避難訓練や救命訓練を行うよう備えていく。

その他の質問

地域貢献活動休暇について



仁多庁舎、横田庁舎設置のAED